

橋本とおる 県政報告

所属会派／民主・県民連合議員会 〒960-8670 福島市杉妻町2-16
発行：橋本とおる 2016. 春号 Vol.2

平成28年度福島県の予算が 可決・成立しました



このため昨年末に改訂した第3次復興計画、人口減少対策を総合的に進めるために策定した「ふくしま創生総合戦略」に基づき11の重点プロジェクトの推進を柱として予算編成されました。その結果、一般会計予算の総額は、震災・原子力災害対応

分の1兆384億円を含め、1兆8,819億円となりました。歳入について県税収入は、2,284億円と、前年度を上回りましたが地方交付税により、震災復興特別交付税を除く実質的な地方交付税は、2,070億円と、前年を下回ることから、一般財源の総額は、前年度と同程度となっております。このため、「原子力災害等復興基金」を始めとした各種基金を取り崩し

ての必要な財源の確保となっております。おりましたが、財政調整基金、減債基金などの主要基金の残高が急激に減少しており、次年度以降の財源の確保については、県と県議会の協議をあげて取り組む必要がありま

付託された各常任委員会で審議するなどし、追加提出を含む知事提出155件、教育長と監査委員の人事案など13件を原案通り可決承認、同意しました。

新しい教育長には県保健福祉部長の鈴木淳一さん、福島市出身が就任します。鈴木さんは東京大経済学部卒、昭和56年に県職員となり、原子力損害担当理事などを務めました。

新年度の主な施策

1 避難地域等復興加速化プロジェクト

- ① 安心して暮らせるまちの復興・再生
- ② 世界のモデルとなる復興・再生

2 生活再建支援プロジェクト

- ① 住まいの安全・安心の確保
- ② 帰還に向けた取組・支援
- ③ 避難者支援体制の充実

3 環境回復プロジェクト

- ① 除染の推進
- ② 食品の安全確保

4 心身の健康を守るプロジェクト

- ① 県民の健康の保持・増進
- ② 地域医療等の再構築
- ③ 最先端医療の提供
- ④ 被災者等の心のケア

5 子ども若者育成プロジェクト

- ① 日本一安心して子どもを産み、育てやすい環境づくり
- ② 復興を担う心豊かなたくましい人づくり
- ③ 産業復興を担う人づくり

6 農林水産業再生プロジェクト

- ① 安全・安心を提供する取組
- ② 農業の再生
- ③ 森林林業の再生
- ④ 水産業の再生

7 中小企業等復興プロジェクト

- ① 県内中小企業等の振興
- ② 企業誘致の促進

8 新産業創造プロジェクト

- ① 再生可能エネルギーの推進
- ② 医療関連産業の集積
- ③ ロボット関連産業の集積

9 風評・風化対策プロジェクト

- ① 農林水産物をはじめとした県産品の販路回復・開拓
- ② 観光誘客の促進・教育旅行の回復
- ③ 国内外への正確な情報発信
- ④ ふくしまをつなぐ、ぎずなづくり
- ⑤ 東京オリンピック、パラリンピックを契機とした情報発信・交流促進

10 復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト

- ① 津波被災地等の復興まちづくり
- ② 復興を支える交通基盤の整備
- ③ 防災・災害対策の推進

11 人口減少・高齢化対策プロジェクト

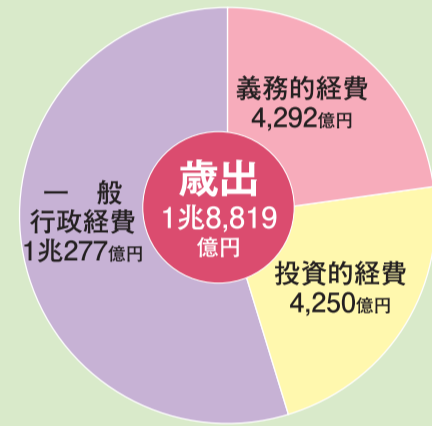
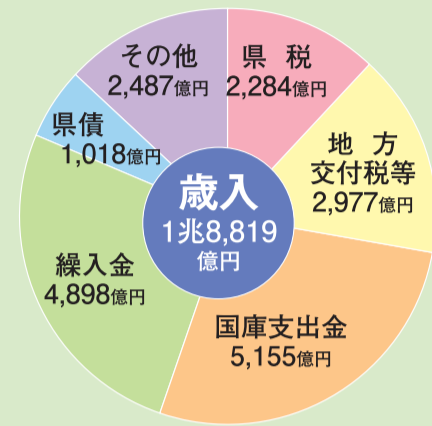
- ① 住みやすい・働きやすい県づくり
- ② 出産、子育てしやすい県づくり
- ③ 若者、女性が活躍する県づくり

【会派の改称について】

私が所属する「民主・県民連合」は、民主と維新の両党が新党「民進党」を設立することに伴い、会派名を「民進党・県民連合」となります。変更は4月1日付。

これに伴い、別会派「ふくしま未来ネットワーク」から高野光二(南相馬市・飯館村)、水野さち子(会津若松市)の両県議が合流します。県議会の会派構成は自民30人、民進党・県民連合が19人、共産5人、公明3人、未来ネット1人となります。

平成28年度当初予算



※扶助費(再掲)1,246億円
[医療・介護給付費のほか災害救助費など]

区分	28年度取崩額	28年度末残高
主要基金	34,448	7,598
内訳	財政調整基金	11,334
	減債基金	23,114
		6,079
		1,519

実質的残高40億円(使途確定分36億円)